

ホップ・ステップ



★10期生、大畑尚代さんの体験から★

今!!! 奇跡が起きました。患者さんと一緒に唾然の瞬間。え、、、?!?!?!

ここからは自分の記録として書くので長いですが、お付き合いいただけたら幸いです。

作業療法士1年目は私は東京の某急性期病院に勤めていました。

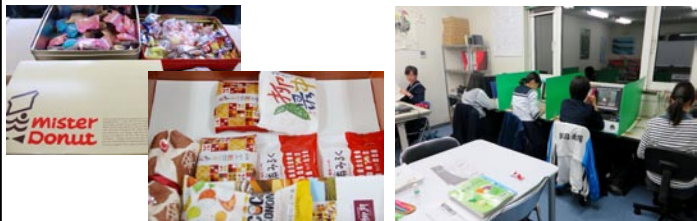
その時にICUにいらつした時から在宅復帰までを担当させていただいた、Hさん80代男性。典型的な右片麻痺。感覚障害重度。芸術家さんでした。

車椅子が外れての退院とはなりませんが、その後在宅でさまざまな合併症が重なり度々入院。車椅子生活に戻られました。全身の痺れで鬱状態。

私は、そんな中、某病院は1年で退職を選択。作業療法



6/11～12 定期テスト対策の1000分特講 参加した生徒のほとんどがその成果を発揮し、中1の菅原君は学年2位



早川君、村形君のお母さんから差入 高校生も今回はかなり一生懸命に



解体中のNTT敷地の周囲を測りました。周囲およそ400m。宿題忘れたら・・・!



陸上800mに出場した1年生の菅原君、やはり体力差が!



水泳に出場した2年生の村上君。50、100m 2位!



卓球に出場した3年生、山岸君と田中君、健闘しましたが2回戦、3回戦で敗退。これで受験勉強に集中するしかないですね!



高専4年の斗内君、進路のことでじっくり話しました



釧路総合振興局勤める道職員の小原史也、仕事は楽そう。



19期生の浦田君、両親を連れ8期生の吉松(須合)さん15年ぶりに4歳のあいりちゃんとお土産をもって。お土産をもって。

士としての力をつけた一心で実習でお世話になった釧路市(地元)の病院に3年間という期限を自分に課せて戻りました。

予定より1年延長し4年間釧路でお世話になることになりましたが、一昨年、東京に再度夢を叶えに東京に舞い戻りました。

同時に個人事業主として独立。理由は、実践的なカウンセラーとして力をつけて患者さんと向き合い続けていきたという夢を叶えるために、カウンセリングの学校に通いながらちゃんと生計を立てるためです。お勤めは選べませんでした。

作業療法士は独立ができない資格ですので、ホルミシスセラピストという資格を抜け道に、隠れ作業療法士として、自由にすべきことを必要な時に必要なだけしたいという想いで、在宅出張を続けてきました。

東京を離れた4年間の間も、H氏と奥様からはお手紙などをいただけており、東京に研修などで年に1、2度行く際は必ずご自宅にうかがっていました。なので、私が東京で独立することを知られてからは、毎週出張をご依頼いただきました。

彼らの存在があったから、独立したてで他にクライアントが全くない不安だらけの無収入の3ヶ月間を前向きに確信をもって頑張らせてくれました。それから独立し2年が経ちました。

H氏への出張頻度は、毎週必要だったお身体から、月2回までに回復。痺れはほとんどなくなり、芸術家としてのお仕事まで再開されるまでになりました。

身体機能面でも分離運動ができなかった上肢手指はステージⅢから現在ステージⅤ。作品作りで右手を使えるようになりませんでした。

ただ、下肢機能、歩様だけは私のスキルや知識では具体的な回復が進んでいませんでした。ステージⅢ

そして、今日、奇跡が起きました。序文、長くなりましたが。

個人事業主として統合医療の実現を原動力に活動をしていくなかで出会っていつている、さまざまな「元」医療従事者さんたち。看護師さんたち、薬剤師さんたちが、げんきみちにはいらつしゃいます。

そんななか、出会い、病院の枠をこえて患者さんの本質的な治療のために今チームを組んで一緒に活動しているメンバーで、お腹のコリをとることの本質を伝えながら患者さんとかかわっていらつしゃる宮本先生。

その宮本から教わったことを、今日は、H氏にしました。

「お腹のコリ」を1時間30分かけて、(まだもちろん全部はとれてません)はじめて、「それだけ」をやりました。

そして、絶対無理だと思っていた足首からの分離運動(共同パターンでもできることほはなかったのに)が能動的に、治療が終わった瞬間にできるようになってしまったのです。NOW

本人、今日はデイクアでお疲れMAX、頭も上げたくないと御冠だったため、寝てもらいながらお腹をやりました。はい、今日はこれで終わりますよ!と。瞬間目を覚まし、何故かビクビクした表情。???

「・足が動く!」と。

え?と、私、足元見る。グーパーグーパーしてる。

しかも、指先まで屈曲、伸展。扇まで。

本人、唾然。私も、絶句。。。

お互い顔見合わせて「え。。。。?!」って。

今日は足は全く触れてません。

これからのリハビリに本人希望を持たれ、知人に電話しまくってました。奇跡が起きた!と。運動頑張ると。目がキラキラ。

お腹のコリ先生は、脳より先という言い方します。その言葉を思い返しました。リハビリの常識、ってどこからそういってきいてたっけ?

基盤が欧米?ドイツ?

お腹の知恵、日本人発祥のもの?は、今日日本の病院では常識として現状取り扱いはほほない。ことを私は臨床で知った。これって、歴史的には、今相当不自然なこととは思って感じます。

否定するのではなく、現実と向き合って、やっぱり新しい医療。統合医療、したいと改めて思います。

そして本当に実現は近いと、体験から直感しました。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
休塾	中1生休み						中1・2生夏期講座スタート	中3夏期講座スタート	■夏期講座準備休み■				★海の日★休塾	休塾							休塾	中体連 バレー・バスケット10日						休塾 中体連 サッカー	中体連 剣道	
夏期講座 中1、2は3時間、中3は4時間です。 8/10は中1、2の道コン 8/11は中3の道コンです。 道コンは全員受験です。							2棟目もここまで進み、7月中に工事は終わる予定です。							■7月の予定■																

「英語と向き合う鳥飼玖美子さんに聞く」

自分の言葉で思い伝える、学びたい時が好機

ーいまの英語教育は方向が間違っているー

英語教育研究者の鳥飼玖美子さんが今年2月に出した「本物の英語力」（講談社）が版を重ねている。英語を話せる人たちが社会的に優位に立つ「英語格差」の広がりを指摘し、新たな発想に基づいた英語学習法を提唱する。

「『英語格差』。嫌な言葉ですが、残念ながらこれは現実です。背景にはグローバル化を受けた学校の英語教育の混乱があります。かつての英語教育は、読み書きはできて、話せない、聞き取りができないのが欠点とされていました。『使える英語』をと、学習指導要領が改訂され、1993年から学校英語教育は、話す、聞くに重点を置いたオーラルコミュニケーションに力を入れることになりました。ところが、発音や聞き取りは多少良くなったものの、読み書きの能力は落ちています」

「帰国子女やバイリンガルがもてはやされますが、幼いときに米国で生活して身に付けた英語がそのままビジネスなど社会の場で通用するかと言えば違います。いまは生活でも仕事でもメールでのやり取りが多くなってきましたから、話し言葉だけでなく、読み書きがより重要になっています」

「英語は『国際共通語』なのだと言い続けています。英語は母語ではなく、第2言語という人たちとコミュニケーションに使うための言語なのです。英語とは聞こえないような発音や、間違いだらけの文法ではコミュニケーションは成立しません。英語が母語のネイティブスピーカーのように話す必要はまったくありません」

国を挙げて取り組んでいる「グローバル人材の育成」に疑問を呈する。

「外交交渉や海外商談で負けないよう、英語でのコミュニケーション能力を高めようということなのでしょう。英語力が付けば国際競争力が高まると思っている。しかし、これは大きな勘違いです。言い負かされてしまうのは、なにも日本人の英語力が不足しているからではありません。姿勢の問題なんです」

「相手と粘り強く意見を戦わせていく。日本人はこれが苦手です。あきらめが早い。徹底的にやりあうことはしない。あきらめの早さは私が同時通訳をしていたときに常に感じました」

「奥ゆかしさは日本の文化なのかもしれません。すばらしいと思います。しかし、自己主張を良しとする文化で育った人たちとやりとりをする場合には、弱みになります。日本の教育では、説き伏せる、反論するといったことを学んでいません。英語力が高まっても、こうした姿勢が身に付いていなければ勝てません。英語が流ちょうに話せるからといって、それがそのまま世界に通用する人材とはならないのです」

英語を「草の根交流」の道具にし、思いを伝える

「外国語は生涯学習であり、私はいまだに学んでいます」と鳥飼さんは言う。習得は容易ではない。自分の学習歴を振り返り、「挫折」の2文字が浮かんでくる人もいるだろう。

「学生ならばともかく中高年以上では、英語で苦勞するのはもうたくさんという方もいるかもしれません。仕事で必要ならばともかく、普通に生活していれば、英語はいらないと。でも、これからの人生で英語との思わぬ出会いがあるかもしれない。いまや海外から年間2000万人を超える人たちが日本を訪れる。2020年には東京オリンピック・パラリンピックがあり、異文化・異言語との接触は避けられない。英語と無縁の生活を送ろうとしても難しいのではないのでしょうか」

「先だって米国のオバマ大統領が広島を訪問しました。米国では原爆投下で戦争終結を早めたと教えられそう信じ込んでいる人が多い。しかし、日本人としてはとても納得はできないでしょう。日本人の考えは違う。米国人と話す機会があったら、そう英語で伝えたいと思いませんか。日本人が英語を学ぶのは、外国人に自分の意見や考えを伝える、日本について理解してもらうところに意味があるのではないのでしょうか。草の根交流ですね」

英語と無理なく付き合っていくにはどうすればいいのか。

「まず発想を変えましょう。ネイティブスピーカーを目指すのではなく、自分が主体的に使える英語を身に付けることを目指すのです。文法の基本を守り、わかりやすく、ゆっくり、はっきり話す。相手の英語が分からなくても、自分が悪いと思わない。『早すぎてわからない』などと正直に伝えればいい。逆に話していて単語が出て来ないときは『ちょっと待って』と伝えればいい」

「世界中の人がお国なまりの英語を使っています。国際共通語はそれでいいんです。コミュニケーションは双方が努力して成立するもの。完璧主義は捨てましょう」

「年齢も関係ない。『いまさら』ということはありません。特にいまの50代以上の方々は既に学校できちんと文法を学んでいる。自身が思っている以上に英語の基礎能力は高い。インターネットの時代、多様な学び方ができます。『やりたい』と思ったときに、始めるときです」

とりかい・くみこ NHK Eテレ「ニュースで英会話」の監修・講師を務める。1969年にアポロ11号の月面着陸のテレビ放送で同時通訳を務め、一躍、名を知られた。

デジタル教科書使用を容認 2020年度から全国の小中高校で

毎日新聞 2016年6月27日 東京朝刊

教科書の内容をタブレット端末などに収めた「デジタル教科書」について、文部科学省の有識者会議が2020年度から全国の小中高校で使えるようにするととの中間報告をまとめた。英語が母語の話者の発音を聞いたり、算数や数学の図形を動画で立体的に学んだりできるメリットが期待される。一方、費用負担や健康面への影響の有無、著作権の問題など課題も多く、有識者会議はさらに検討を重ねて年内に最終報告をまとめる。

●将来は「選択制」も

デジタル教科書は、紙の教科書の内容をそのままタブレット端末などに収めたもの。動画や音声、ページの拡大や書き込みといった追加機能が付いている。利用するかどうかは教育委員会が決める。中間報告は、当面は紙の教科書を基本としつつ、教科や学習内容によってはデジタル教科書だけを使うことも認めた。将来的には紙かデジタルのいずれかを選択して使う「選択制」の仕組みも検討する。



教科書は文科相の検定に合格しないと学校で使用できない。しかし、デジタル教科書は紙の教科書と内容が同じなので、改めて検定を受ける必要はない。追加機能の動画や音声などは情報量が膨大で部分的な修正も難しいため、追加機能部分については検定対象とせず「教科書以外の教材」と位置づけることにした。ただ、質の確保は重要なため、国に指針の策定を求めた。将来的に紙かデジタルのいずれかを使う場合の検定のあり方については更に検討が必要だとした。

●学習意欲高まる

展示されたデジタル教科書＝東京都江東区の東京ビッグサイトで、猪飼健史撮影

東京都荒川区は2014年度、区立小中学校全34校にタブレット端末を配備した。小1～小2が児童4人に1台、小3～小6が2人に1台、中学生は生徒1人に1台。区教委は「この台数があれば、各クラスで授業をする際に1人1台行き渡る」という。合計約1万台の端末はリースで、ネットワーク整備などを含む年間約5億円の費用は区が負担している。

区内の全小中学校には既に電子黒板も配備されており、生徒が端末に書いた解答を電子黒板に映し、みんなで考えようといった授業もしているという。区教委は「多くの教員が『子どもたちの学習意欲が高まった』と話している。今後、デジタル教材の導入前後で学力にどのような変化がみられるか調査したい」と話す。

●1人10万円の費用

一方、デジタル教科書の普及には課題も多い。その一つが端末代も含め1人数万～10万円程度とされる費用負担の問題だ。義務教育の小中学校で使う紙の教科書は、法律に基づき無償で配布されている。中間報告は、義務教育段階で使う場合は「可能な限り無償が望ましい」としたが、紙に加えてデジタル教科書も無償にするのは「直には困難」とした。有識者会議の議論でも「(自治体や家庭の) 経済的格差が教育格差につながるようすべからず」との指摘があり、自治体などの負担が軽くなるよう教科書会社など関係者に検討を求めた。

著作権など権利関係の問題もある。教育目的で作る現行の紙の教科書は著作権法上、一定の要件を満たせば個々の権利者に許諾を得ずに掲載できる仕組みになっている。しかし、デジタル教科書は対象外で、現在使われているデジタル教材は、出版社が紙の教科書とは別に権利者との間で契約を交わし、著作物を利用している。このため、デジタル教科書導入に伴う著作権のあり方についても検討が必要だとした。

有識者会議では「視力や脳の発達に影響はないのか」など健康面の不安や、「動画や音声などの機能に依存し、実際に書く力や考える力の育成につながらないのでは」などと教育効果を疑問視する声もあった。このため中間報告は、既にデジタル教材を使っている先行自治体など、20年度の導入前後を通じて実証研究を実施し、教育効果などに関するデータを更に集めることも求めた。

文科省の担当者は「今回の議論は、子どもたちがデジタル教科書のメリットを享受できるように条件整備しておくのが目的だ。国として紙からデジタル教科書への転換を進めようというのではなく、あくまで希望する自治体や学校があれば使えるようにしたい」と話している。

【佐々木洋】